

プラスチック分別収集・再資源化モデル事業 中間報告

1. モデル事業の概要

(1) 事業の趣旨

プラスチック資源の収集量や組成等を把握し、分別・排出及び収集運搬の方法等について検討する。

(2) 実施地区（2地区）

- ・中央区仁戸名町松ヶ丘小学校区 配布対象724世帯
- ・美浜区幸町1丁目千葉ガーデンタウン 配布対象1,343世帯

(3) 実施期間

令和6年8月から12月までの5か月間

- ・中央区仁戸名町松ヶ丘小学校区：月曜日収集（22週）
- ・美浜区幸町1丁目千葉ガーデンタウン：水曜日収集（21週）

(4) 実施方法等

- ①分別方法 プラスチック資源の範囲等はリーフレットのとおり
- ②排出方法 モデル事業用袋で、決められた曜日（週1回）に、ごみステーションへ排出
- ③収集運搬 プレスパッカー車による委託回収
- ④再商品化 固形燃料化

(5) 周知・啓発について

- ①住民説明会等の開催、ケーブルTVでの放映
- ②市HPに事業概要を掲載、動画の配信
- ③モデル地区内の各世帯へモデル事業リーフレット等の配布
- ④ごみステーション看板・周知看板の掲示
- ⑤分別早見表＜分別注意情報及び

脱プラスチック生活啓発＞の回覧、配布

- ⑥ごみステーション早朝啓発、イベントでの周知



千葉市 家庭ごみステーション		
8月から12月まで、 プラスチック資源を分別収集します。		
プラスチック資源の分別にご協力ください。	プラスチック資源	水曜日
	木の枝 刈り草・葉	第2・第4 火曜日
	古紙・布類	金曜日
	びん・缶 ペットボトル	土曜日
	可燃ごみ	月曜日 木曜日
	不燃ごみ 有害ごみ	第1・第3 火曜日
8月7日がプラスチック資源の初回収集です。		
千葉市廃棄物対策課 ☎043-245-5236		

**プラスチック分別収集・再資源化
モデル事業が始まります!**

実施期間
令和6年 8月～12月

実施地区・プラスチック資源の収集日

中央区仁戸名町 松ヶ丘小学校区	美浜区幸町1丁目 千葉ガーデンタウン
毎週 月曜日 (祝日収集実施)	毎週 水曜日
初回(8/5) 最終回(12/30)	初回(8/7) 最終回(12/25)

なぜプラスチックを分別収集するのですか?

プラスチック資源の分別収集は、地球温暖化対策、海洋プラスチック削減のため、各家庭でのプラスチック資源分別にご協力をお願いします!

お問い合わせ先
千葉市環境局資源循環部 廃棄物対策課 ごみ削減推進班
☎043-245-5236 平日8:30～17:30
@shikibutoutsaku ENR@city.chiba.lg.jp

**プラスチック
分別収集・再資源化
モデル事業を実施します!**

地球温暖化対策、
海洋プラスチック削減のため、
各家庭でのプラスチック資源
分別にご協力をお願いします!

実施期間: 令和6年8月～12月
モデル地区: 仁戸名町松ヶ丘小学校区内

モデル事業について詳しくはこちら→

お問い合わせ先
千葉市環境局資源循環部 廃棄物対策課 ごみ削減推進班
☎043-245-5236 平日8:30～17:30
@shikibutoutsaku ENR@city.chiba.lg.jp

2. 収集量の推移

	仁戸名町 松ヶ丘小 学校区	幸町1丁 目千葉 ガーデン タウン	2地区 合計
1週目	280.7	382.0	662.7
2週目	141.4	340.1	481.5
3週目	194.0	386.4	580.4
4週目	180.0	362.0	542.0
5週目	190.0	361.3	551.3
6週目	220.4	360.2	580.6
7週目	172.5	382.7	555.2
8週目	200.2	362.7	562.9
9週目	230.0	360.0	590.0
平均	201.0	366.4	567.4

(単位：kg)

収集量の推移

累計量：5,106.6kg

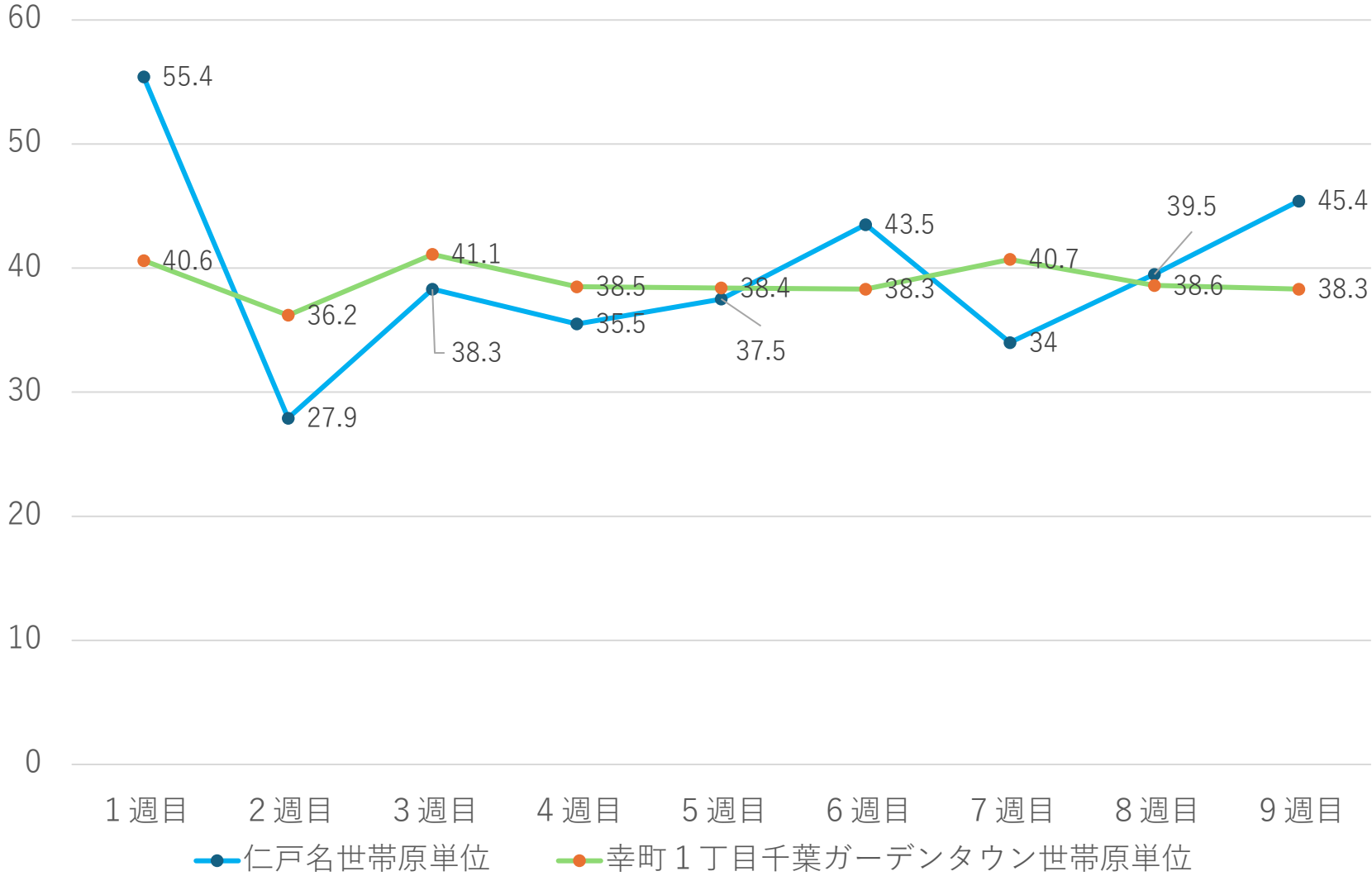


3. 世帯原単位の推移

	仁戸名 世帯原単位	幸町1丁目 千葉ガーデン タウン 世帯原単位
1 週目	55.4	40.6
2 週目	27.9	36.2
3 週目	38.3	41.1
4 週目	35.5	38.5
5 週目	37.5	38.4
6 週目	43.5	38.3
7 週目	34.0	40.7
8 週目	39.5	38.6
9 週目	45.4	38.3
平均	39.7	39.0
平均(過去 3 回)	39.6	39.2

(単位：g)

世帯原単位の推移



4. ごみステーションの状況



プラスチック資源回収
(7日分)



モデル事業開始後の可燃ごみ
(左4日分、右3日分)



○容量ベースで概ね1/3がプラスチック資源にシフト

○ごみステーション管理上の大きな問題発生なし

○現地聞き取りでの声

「分別するまで、こんなに沢山のプラ資源が出るとは思わなかった。」

「可燃ごみが激減した。リサイクルが進んだと実感できる。」

「水ですすぐが、どこまできれいにすればよいか迷うことがある。」

「出し方を間違えている人がいる。」

「モデル事業は参加が任意なので、今は分別していないが、本格実施されたら協力する。」

5. モデル地区住民からのお問い合わせ

(1) 分別対象かどうかのお問い合わせ

- ・布団圧縮袋
- ・カセットテープ
- ・ラップ
- ・化粧品が入っていた容器
- ・プラスチック製植木鉢
- ・台所用スポンジ
- ・レジ袋
- ・アルミ蒸着のお菓子の袋
- ・ボールペンの芯
- ・保冷ボックス
- ・衣装ケース

(2) その他

- ・洗ったものは乾かすのか。
- ・納豆パックはきれいに洗えたので排出したい。
- ・シャンプーなどの詰め替え用パックは洗っても泡だらけになってしまう。

①製品プラスチックの分別対象の問い合わせが多い。

②広がった時の大きさ、テープ類の処理困難性が実感しにくい。

③より資源化できるものを分別したいという方と合理的な分別を志向する方がいる。

6. モデル事業の今後の予定

- ・ 1 2 月まで分別収集を継続
- ・ プラスチック資源の排出量推計、分別ルールの特査等を行うため、以下を実施

(1) ごみ組成分析調査

実施時期：1 1 月～1 2 月

対 象：プラスチック資源、可燃ごみ、不燃ごみ

測定方法：プラスチック類の主な品目区分ごとの重量及び容積、汚れ具合等を計測

(2) アンケート

実施時期：1 2 月

対 象：モデル地区の全世帯

質問項目：2 0 問程度＜分別排出の実態及び住民の意見等を把握＞

※集計後、審議会に速報で報告

※別途、町内自治会等と意見交換を実施